

<報道関係各位>

アデランス

写真家・安珠氏の作品にアデランスのウィッグを提供
安珠写真展 Invisible Kyoto-目に見えぬ平安京-
期間:2019年6月8日~6月30日
会場:美術館「えき」KYOTO

毛髪・美容・健康のウェルネス産業の株式会社アデランス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 津村 佳宏）は、2019年6月8日（土）～6月30日（日）まで行われている「安珠写真展 Invisible Kyoto-目に見えぬ平安京-（主催：美術館「えき」KYOTO、京都新聞／場所：美術館「えき」KYOTO）」に、当社のウィッグを提供しました。ウィッグは写真撮影時に使用された他、会場では撮影に使用した十二単と共にウィッグが展示されています。



展示された十二単と当社ウィッグ

■写真展のテーマ

京都の源である平安京に焦点を当てた「Invisible Kyoto-目に見えぬ平安京-」。風水でいう四神相応に守られた平安京は、生と死が混在し、人々は見えぬ世界を信じていました。情緒豊かで想像力たくましい平安時代の人たちは、儚い命をどう生きぬいたのでしょう。伝承されている物語から平安京を写真で紐解きます。京都の伝統工芸や貴重な和紙を駆使して、80点以上の作品を展示。会場音楽は、細野晴臣氏がオリジナル音楽を制作。日本人の想像力と美意識、平和への願いが集結した平安京を“安珠の写真世界”でご堪能ください。

■ウィッグ

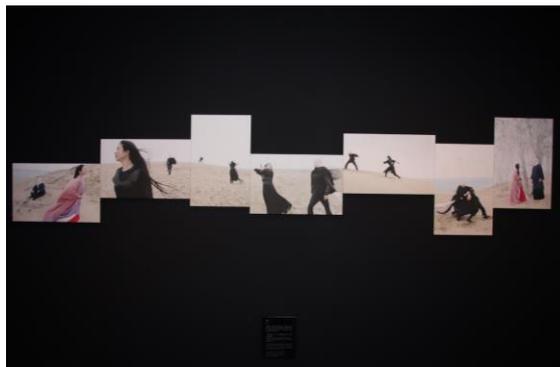
今回のウィッグは安珠氏とアデランスグループ・ウィッグデザイナーのNORIKOがタッグを組み、写真展のテーマである「平安京」に合わせたウィッグ*1を考案。平安時代に多くの女性が使用していたと言われている十二単に合わせ、ストレートのロングヘアウィッグを製作しました。カラーは全体的に黒色を基調とし、一部に紫色を施しています。また、提示したウィッグは2017年に最少年で紫綬褒章を受賞したバレリーナの酒井はなさんにも着用いただき写真作品(次ページ)にも使用されました。

※1：展用にオーダーメイドで製作しており、販売を行っておりません。

■当社のウィッグが使用された作品



< 竹取の翁 >



< 恋愛 >

■安珠氏について

東京出身。ジバンシーにスカウトされパリコレなど、国際的なモデルとして活躍後、1990年『サーカスの少年』を出版し写真家に転身。広告、雑誌連載、文筆や講演、多ジャンルの審査員、ビジュアルプランから映像監督まで幅広く活躍。安珠写真展「Invisible Kyoto - Tokyo edition」をライカ GINZA SIX（GINZA SIX5F／5月16日～9月24日迄）で開催。

<https://www.anjujp.com>



■NORIKO について

アデランスグループの専属ウィッグデザイナー。独特の感性にて、フォンテーヌやアニーダブレーなどのブランドを中心に、スタイリッシュなデザインウィッグを開発。多くの芸能人やアーティスト、ファッションモデルなどにデザインウィッグを提供し、華やかなヘアスタイルの世界観を演出している。

